

平成 28 年 9 月 12 日
日本工学院八王子専門学校

学校関係者評価結果

学校関係者評価委員会会議の中で本校が行った平成 27 年度自己点検の評価について、すべての項目において了承を得た。評価委員会の主な発言は次のとおりである。

（1）教育理念・目標

- ・技術革新が著しい分野の人材教育等について、常に検討し新しい教育を検討しているところなど社会経済のニーズ等を踏まえた評価項目は 4 でも良い。

（2）学校運営

- ・内部情報もあり判断は難しいが、情報公開など適切に行われている。

（3）教育活動

- ・講義型の授業から、学生が創造性を発揮して学習ができる場の提供が求められている。アクティブラーニングの導入を検討する必要があるのではないか。
- ・学習内容を広報活動に取り入れていくことも肝要かと思われる。

（4）学習成果

- ・卒業後にスキルを持っていることは大きな力であり、資格取得に力を入れていることは大きな魅力である。
- ・校友会を中心とした活動を積極的に戦略的に支援することで全体的な把握に努め、校友会との連携を図ってほしい。

（5）【学生支援】

- ・トランスジェンダーに対する認知が広がっているが、学校としての取組や対応が必要になってくるのではないか。
- ・ボランティア活動については、自らが考え活動するべきはないか。
- ・学習障害などの受け入れに関しては、大きな課題となっている。今後どう取り組んでいくのか、受け入れ体制や教員間の情報の共有システムを作っていく必要がある。
- ・校友会として卒業生への支援体制は十分とはいえないで、今後も継続的課題として校友会役員会で検討していく。
- ・校友会の認知度をあげるのも必要、キャリアサポートセンターとの連携を取りながら卒業生との繋がりを強化していきたい。

（6）教育環境

- ・設備、企業との連携は他にはない良好な現状と思われる。
- ・セキュリティ向上のため、Web で来校登録をするし入館チケットを外部入館者向けに発行するシステムなどの導入を検討してみたらどうか。
- ・防災について、「防災医療コーディネーター」（東京都福祉保健局）の講演や研修がある。八王子医療センターにコーディネーターとなっている医師がいるので、教員向けに実施を検討する。

（7）学生の受入れ募集

- ・オープンな体制であり、施設・授業の見学もでき各地から大型バスでの見学者が訪れていることは学校にとって望ましい。

（10）社会貢献・地域貢献

- ・八王子市との協定は積極的な動きで好感が持て、学校も高く評価される。
- ・今後はボランティアへの学生参加比率、カレッジ比率などを取って傾向と対策を検討してみてはどうか。

総合

- ・特に問題ない。
- ・引き続き社会情勢にあった、社会に貢献できる人材の育成を行っていってほしい。

以上